

災害対策パンフレット

～自宅で被災した場合の心得～

安全の確保

- 倒壊、火災などの恐れがないか、場所の安全確認をしましょう。
- 周囲の状況を確認し、河川の氾濫や火災の発生などの心配がないか確認しましょう。
- 安全が確認できない場合には、避難場所や避難所に避難をしましょう。

病院との連絡

- 安全の確保ができれば、透析療法を受けている病院に連絡しましょう。

避難所に避難した場合の行動

- 避難所の医療救護所の医師や看護師などに透析療法を受けていることを伝えましょう。
- 透析療法を受けている病院に可能な限りの方法で連絡を取り、「自分の状況」を報告して、透析療法を受けることができるか確認しましょう。透析療法を受けられない場合には、他施設で透析療法を受けなければならないこともあります。
- 他施設に移動して治療を受ける場合には、移動方法と集合場所などの指示を受けましょう。

災害時に備えて緊急連絡先、避難場所や避難所について確認しておきましょう

<p>・緊急連絡先</p> <p>①名前 _____ (関係: _____) 電話: _____</p> <p>②名前 _____ (関係: _____) 電話: _____</p>	
<p>・避難場所・避難所</p>	
 <p>避難場所</p>	 <p>避難所</p>
<p>地震: _____</p> <p>洪水: _____</p>	

緊急連絡先確認シート